

---

# ラズパイ-DVMEGA装置を 使った BlueDVの使い方

2017年1月22日 (V1.1)

---

JR10FP

# 1. 概要

BlueStack Micro+基板や Bluetooth基板を使わないで、ラズパイ-DVMEGA装置でも、BlueDVアプリが使えることを確認しました。この資料ではその方法を紹介します。

## (利点)

- (1) BlueDV装置が無くても、従来使っていた DVMEGA+ラズパイ装置で BlueDVアプリが利用できる。
- (2) BlueDVアプリを使うことにより、ネット環境が少し不安定な場所でも、交信が切れにくくなる。

## (欠点)

- (1) ラズパイを使うので、BlueDV装置より消費電力が大きくなる。

## 2. システム構成

### (システム構成#1)



(DVMEGA+ラズパイ)

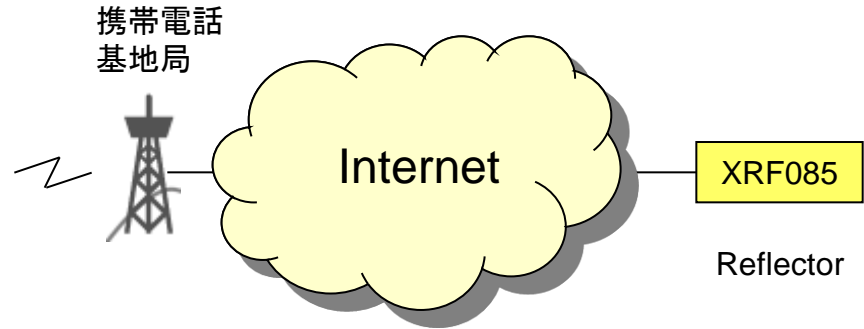
Western D-Starのソフトを動かす。

WiFi  
テザリング



(スマホ)

BlueDVアプリを動かす



### (システム構成#2)

(DVMEGA+ラズパイ)

Western D-Starのソフトを動かす。



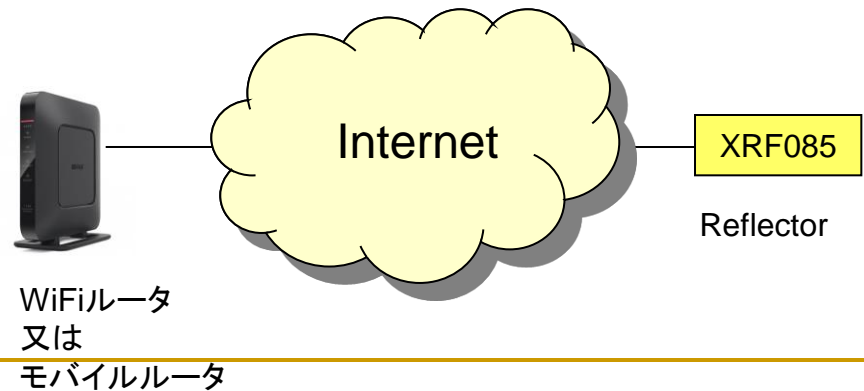
WiFi

(スマホ)

BlueDVアプリを動かす

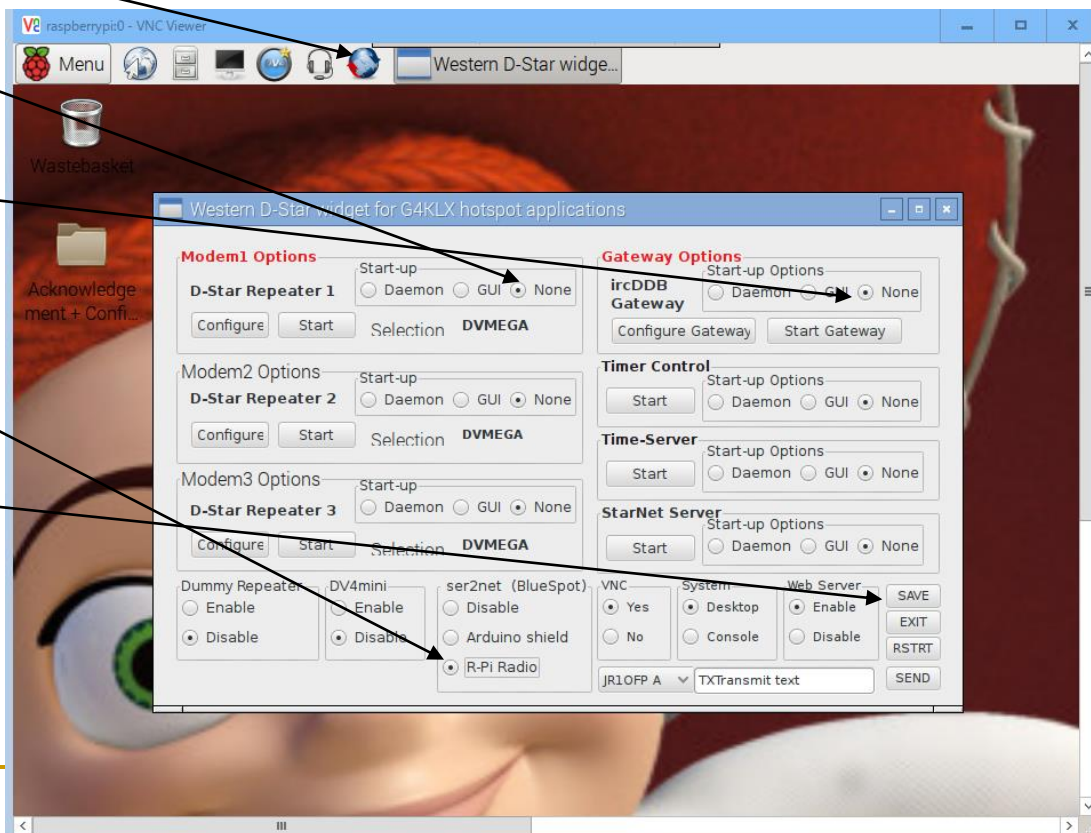


WiFi



### 3. DVMEGA-ラズパイ装置の設定

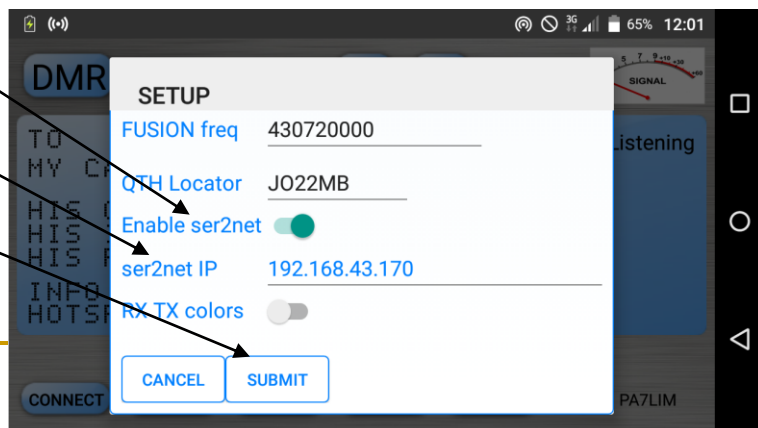
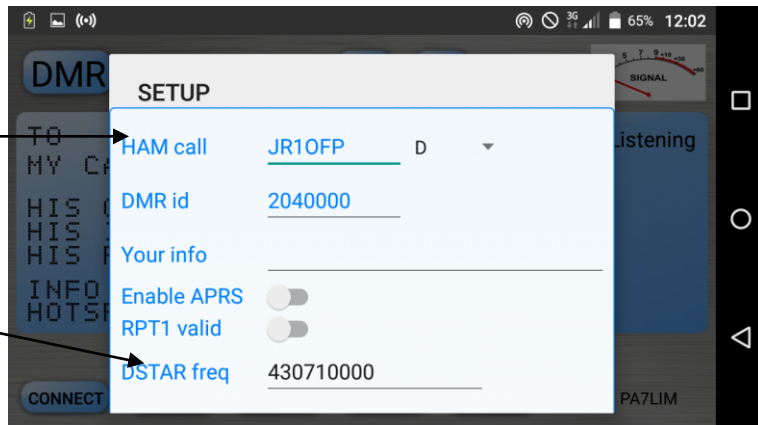
- (1) ラズパイに ディスプレイ、キーボード、マウスを接続し電源を入れる。
- (2) ラズパイとスマホ又はWiFiルータとWiFi接続の設定を行う。
- (3) 設定メニューを出す。
- (4) D-Star Repeaterを Noneに設定する。
- (5) ircDDBGatewayを Noneに設定する。
- (6) Ser2netを R-Pi Radio に設定する。
- (7) 設定を保存する。
- (8) Menu => Shutdown  
その後電源OFF/ON  
で再起動する。



## 4. スマホの設定

- (1) テザリング機能をONにする。(テザリング接続を使う場合)  
WiFi接続する。(WiFiルータを使う場合)
- (2) ラズパイに割り当てられたIPアドレスを調べる。  
(Netscan等のアプリを使い調べる)
- (3) BlueDVアプリを起動する。
- (4) Setupを起動し、HAM call、  
DSTAR freq、  
Enable ser2netをON、  
ser2net IPにラズパイの  
IPアドレスを設定する。

⇒ SUBMITをタップし設定を  
保存する。



## 5. BlueDVの使い方

- (1) NET CONNECTED状態になっていることを確認する。
- (2) 接続したい Reflectorを選択し、接続ボタンを押す。
- (3) これで ID51/ID31等を使って、交信できます。

